

比較表における差異識別プラント一覧

資料2

主な審査項目		ステータス	比較表で 差異の識別を行う プラント	差異の識別を行うプラントの 選定理由	補足
耐震設計方針（第4条，第39条） ※第3条，第38条の設備の地盤への対処も含む		一部説明済み コメント回答中	女川2号炉	当該条文は、地形や敷地内の配置といったサイト固有の条件を踏まえた設計方針を示す必要があることを踏まえ、炉型に係らず原子炉施設に共通の要求に対する基準適合の視点を参照する対象として最新審査実績である女川2号炉を選定する。	
耐津波設計方針（第5条，第40条）		一部説明済み コメント回答中	女川2号炉	当該条文は、敷地の特性に応じた津波防護の方針を示す必要があることを踏まえ、炉型に係らず原子炉施設に共通の要求に対する基準適合の視点を参照する対象として最新審査実績である女川2号炉を選定する。	具体的な設計が類似している一部の内容（貯留堰など）については東海第二を選定する。
外部事象 （第6条）	・竜巻に対する設計方針	概ね説明済み	女川2号炉	当該条文は、気象条件や敷地内の配置といったサイト固有の条件を踏まえた設計方針を示す必要があることを踏まえ、炉型に係らず原子炉施設に共通の要求に対する基準適合の視点を参照する対象として最新審査実績である女川2号炉を選定する。	-
	・火山事象に対する設計方針	概ね説明済み	女川2号炉	当該条文は、立地条件等のサイト固有の条件を踏まえた設計方針を示す必要があることを踏まえ、炉型に係らず原子炉施設に共通の要求に対する基準適合の視点を参照する対象として最新審査実績である女川2号炉を選定する。	-
	・外部火災に対する設計方針	概ね説明済み	女川2号炉	当該条文は、敷地内の配置、火災源となる設備等のサイト固有の条件を踏まえた設計方針を示す必要があることを踏まえ、炉型に係らず原子炉施設に共通の要求に対する基準適合の視点を参照する対象として最新審査実績である女川2号炉を選定する。	-
	・その他自然現象等に対する設計方針	概ね説明済み	女川2号炉	当該条文は、立地・気象条件等のサイト固有の条件を踏まえた設計方針を示す必要があることを踏まえ、炉型に係らず原子炉施設に共通の要求に対する基準適合の視点を参照する対象として最新審査実績である女川2号炉を選定する。	-
不法な侵入（第7条）		概ね説明済み	女川2号炉	当該条文は、炉型に係らず原子炉施設に共通の要求に対する基準適合の視点を参照する対象として、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	-
内部火災（第8条）		概ね説明済み	女川2号炉	当該条文は、建屋内の配置、火災源等といったプラント固有の条件を踏まえた設計方針を示す必要があることを踏まえ、炉型に係らず原子炉施設に共通の要求に対する基準適合の視点を参照する対象として最新審査実績である女川2号炉を選定する。	火災防護対策を講じる「原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するために必要な構築物、系統及び機器」、「放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する構築物、系統及び機器」については、基準適合のための適切な設計を取り込むため同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉を選定する。
内部溢水（第9条）		概ね説明済み	女川2号炉	当該条文は、敷地や建屋内の配置、溢水源となる設備等といったプラント固有の条件を踏まえた設計方針を示す必要があることを踏まえ、炉型に係らず原子炉施設に共通の要求に対する基準適合の視点を参照する対象として最新審査実績である女川2号炉を選定する。	-
誤操作の防止（第10条）		概ね説明済み	女川2号炉	当該条文は、炉型に係らず原子炉施設に共通の要求に対する基準適合の視点を参照する対象として、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	-
安全避難通路（第11条）		概ね説明済み	女川2号炉	当該条文は、炉型に係らず原子炉施設に共通の要求に対する基準適合の視点を参照する対象として、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	-
安全施設（第12条）		概ね説明済み	女川2号炉	当該条文は、炉型に係らず原子炉施設に共通の要求に対する基準適合の視点を参照する対象として、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	-
全交流電源喪失（第14条）		概ね説明済み	女川2号炉	当該条文は、炉型に係らず原子炉施設に共通の要求に対する基準適合の視点を参照する対象として、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	-
SFP（第16条，第23条）		概ね説明済み	女川2号炉	当該条文は、炉型に係らず原子炉施設に共通の要求に対する基準適合の視点を参照する対象として、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	-
RCPB（第17条）		概ね説明済み	女川2号炉	当該条文は、炉型に係らず原子炉施設に共通の要求に対する基準適合の視点を参照する対象として、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	-
安全保護回路（第24条）		概ね説明済み	女川2号炉	当該条文は、炉型に係らず原子炉施設に共通の要求に対する基準適合の視点を参照する対象として、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	-
原子炉制御室（第26条）		概ね説明済み（有毒ガスはバックフィットのため新規説明）	女川2号炉	当該条文は、炉型に係らず原子炉施設に共通の要求に対する基準適合の視点を参照する対象として、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	居住性評価で考慮する事故シナリオについては、PWR固有の設計に基づくものであり、基準適合のための適切な設計を取り込むため同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉を選定する。 バックフィットの有毒ガスについて、女川は設置変更許可を受けていないため、既許可の審査代表プラントである伊方3号炉と柏崎6/7号炉を選定する。
監視設備（第31条）		概ね説明済み	女川2号炉	当該条文は、炉型に係らず原子炉施設に共通の要求に対する基準適合の視点を参照する対象として、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	-
保安電源（第33条）		概ね説明済み	女川2号炉	当該条文は、炉型に係らず原子炉施設に共通の要求に対する基準適合の視点を参照する対象として、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	-
緊急時対策所（第34条）		概ね説明済み（有毒ガスはバックフィットのため新規説明）	女川2号炉	当該条文は、炉型に係らず原子炉施設に共通の要求に対する基準適合の視点を参照する対象として、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	-
通信連絡設備（第35条）		概ね説明済み	女川2号炉	当該条文は、炉型に係らず原子炉施設に共通の要求に対する基準適合の視点を参照する対象として、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	-
PRA	Lv 1	概ね説明済み	大飯3/4号炉	プラント設計方針、基準適合へのアプローチが同じである同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉を、基準適合のための適切な設計を取り込むための比較対象として選定する。	-
	Lv 1.5	概ね説明済み	大飯3/4号炉	プラント設計方針、基準適合へのアプローチが同じである同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉を、基準適合のための適切な設計を取り込むための比較対象として選定する。	-
	停止時	概ね説明済み	大飯3/4号炉	プラント設計方針、基準適合へのアプローチが同じである同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉を、基準適合のための適切な設計を取り込むための比較対象として選定する。	-
	地震	確率的地震ハザード等の変更に伴う再評価の結果をご説明	大飯3/4号炉	プラント設計方針、基準適合へのアプローチが同じである同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉を、基準適合のための適切な設計を取り込むための比較対象として選定する。	-

比較表における差異識別プラント一覧

	津波	確率論的津波ハザード等の変更に伴う再評価の結果をご説明	大飯3/4号炉	プラント設計方針、基準適合へのアプローチが同じである同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉を、基準適合のための適切な設計を取り込むための比較対象として選定する。	-	
	事故シナリオグループ及び重要事故シナリオ	概ね説明済み（地震・津波再評価結果反映する。）	女川2号炉	当該審査項目は、原子炉施設に共通の設計に係るものであり、比較表形式でのまとめ資料の比較が可能であることから、基準適合の視点を参照する対象として、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	PWR固有の設計に基づく事故シナリオについては、基準適合のための適切な設計を取り込むため同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉を選定する。	
	解析コード	概ね説明済み		使用解析コードはプラント型式により相違しており、審査はPWR合同/BWR合同で実施済み	-	
	CV温度圧力	概ね説明済み	大飯3/4号炉	PWRの最終実績である大飯3/4号炉を、基準適合のための適切な設計を取り込むための比較対象として選定する。	PWR鋼製格納容器で設備構成が類似しており、原子炉格納容器の設計方針、基準適合へのアプローチが同じ伊方3号炉も比較表において併記。	
有効性評価 (第37条)	炉心	2次冷却系からの除熱機能喪失	概ね説明済み	大飯3/4号炉	2次冷却系からの除熱機能喪失への対応は、PWR固有の設計に基づくものであり、事故シナリオグループ等の特徴がPWRとBWRで異なるため比較は難しく、同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉を選定する。	-
		全交流動力電源喪失	概ね説明済み	女川2号炉	当該審査項目は、原子炉施設に共通の要求に係るものであり、事故シナリオグループ等の特徴もPWRとBWRで類似している。また、有効性評価は女川2号炉と泊3号炉で資料構成が同一であり、比較表形式でまとめ資料の項目単位での比較も精度良く可能であることから、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	【長期TB（女川）】 長期TBはBWR固有の事故シナリオグループであるが、24時間の交流電源の喪失を仮定する点では泊の全交流動力電源喪失と同様のため比較を実施する。 操作手順、解析条件等については、PWR固有の設計に基づくものであるため、同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉と比較し差異の識別を実施。 【TBU、TBD、TBP】 TBU、TBD及びTBPはBWR固有の事故シナリオグループのため、比較表は作成していない。
		原子炉補機冷却機能喪失	概ね説明済み	大飯3/4号炉	当該審査項目は、原子炉施設に共通の要求に係るものであるが、事故シナリオグループ等の特徴がPWRとBWRで異なることから、基準適合のための適切な設計を取り込むため同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉を選定する。	-
		原子炉格納容器の除熱機能喪失	概ね説明済み	大飯3/4号炉	当該審査項目は、原子炉施設に共通の要求に係るものであるが、事故シナリオグループ等の特徴がPWRとBWRで異なることから、基準適合のための適切な設計を取り込むため同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉を選定する。	-
		原子炉停止機能喪失	概ね説明済み	女川2号炉	当該審査項目は、原子炉施設に共通の要求に係るものであり、事故シナリオグループ等の特徴もPWRとBWRで類似している。また、有効性評価は女川2号炉と泊3号炉で資料構成が同一であり、比較表形式でまとめ資料の項目単位での比較も精度良く可能であることから、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	操作手順、解析条件等については、PWR固有の設計に基づくものであるため、同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉と比較し差異の識別を実施。
		ECCS注水機能喪失	概ね説明済み	女川2号炉	当該審査項目は、原子炉施設に共通の要求に係るものであり、事故シナリオグループ等の特徴もPWRとBWRで類似している。また、有効性評価は女川2号炉と泊3号炉で資料構成が同一であり、比較表形式でまとめ資料の項目単位での比較も精度良く可能であることから、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	操作手順、解析条件等については、PWR固有の設計に基づくものであるため、同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉と比較し差異の識別を実施。
		ECCS再循環機能喪失	概ね説明済み	大飯3/4号炉	当該審査項目は、原子炉施設に共通の要求に係るものであるが、事故シナリオグループ等の特徴がPWRとBWRで異なることから、基準適合のための適切な設計を取り込むため同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉を選定する。	-
		格納容器バイパス（インターフェイスシステム LOCA、蒸気発生器伝熱管破損）	概ね説明済み	女川2号炉	当該審査項目は、原子炉施設に共通の要求に係るものであり、事故シナリオグループ等の特徴もPWRとBWRで類似している。また、有効性評価は女川2号炉と泊3号炉で資料構成が同一であり、比較表形式でまとめ資料の項目単位での比較も精度良く可能であることから、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	【IS-LOCA】 操作手順、解析条件等については、PWR固有の設計に基づくものであるため、同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉と比較し差異の識別を実施。 【SGTR+破損SG隔離失敗】 PWR固有の事故シナリオのため大飯3/4号炉と比較し差異の識別を実施。
		S A CV	CV	過圧破損	概ね説明済み	女川2号炉
過温破損	概ね説明済み			大飯3/4号炉	当該審査項目は、原子炉施設に共通の要求に係るものであり、事故シナリオグループ等の特徴もPWRとBWRで類似しているが、女川2号炉は格納容器過圧破損と過温破損を1つの事故シナリオグループと評価している。また、起因事象が女川2号炉はLOCAであるのに対して、泊3号炉はSBOであり事象進展が大きく異なり、設計の相違があることから同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉を選定する。	-
DCH	概ね説明済み			女川2号炉	当該審査項目は、原子炉施設に共通の要求に係るものであり、事故シナリオグループ等の特徴もPWRとBWRで類似している。また、有効性評価は女川2号炉と泊3号炉で資料構成が同一であり、比較表形式でまとめ資料の項目単位での比較も精度良く可能であることから、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	操作手順、解析条件等については、PWR固有の設計に基づくものであるため、同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉と比較し差異の識別を実施。
FCI	概ね説明済み			女川2号炉	当該審査項目は、原子炉施設に共通の要求に係るものであり、事故シナリオグループ等の特徴もPWRとBWRで類似している。また、有効性評価は女川2号炉と泊3号炉で資料構成が同一であり、比較表形式でまとめ資料の項目単位での比較も精度良く可能であることから、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	操作手順、解析条件等については、PWR固有の設計に基づくものであるため、同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉と比較し差異の識別を実施。
水素燃焼	概ね説明済み			女川2号炉	当該審査項目は、原子炉施設に共通の要求に係るものであり、事故シナリオグループ等の特徴もPWRとBWRで類似している。また、有効性評価は女川2号炉と泊3号炉で資料構成が同一であり、比較表形式でまとめ資料の項目単位での比較も精度良く可能であることから、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	操作手順、解析条件等については、PWR固有の設計に基づくものであるため、同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉と比較し差異の識別を実施。
MCCI	概ね説明済み			女川2号炉	当該審査項目は、原子炉施設に共通の要求に係るものであり、事故シナリオグループ等の特徴もPWRとBWRで類似している。また、有効性評価は女川2号炉と泊3号炉で資料構成が同一であり、比較表形式でまとめ資料の項目単位での比較も精度良く可能であることから、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	操作手順、解析条件等については、PWR固有の設計に基づくものであるため、同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉と比較し差異の識別を実施。
SF P	SF P			想定事故1	概ね説明済み	女川2号炉
		想定事故2	概ね説明済み	女川2号炉	当該審査項目は、原子炉施設に共通の要求に係るものであり、事故シナリオグループ等の特徴もPWRとBWRで類似している。また、有効性評価は女川2号炉と泊3号炉で資料構成が同一であり、比較表形式でまとめ資料の項目単位での比較も精度良く可能であることから、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	-
		崩壊熱除去機能喪失	概ね説明済み	女川2号炉	当該審査項目は、原子炉施設に共通の要求に係るものであり、事故シナリオグループ等の特徴もPWRとBWRで類似している。また、有効性評価は女川2号炉と泊3号炉で資料構成が同一であり、比較表形式でまとめ資料の項目単位での比較も精度良く可能であることから、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	操作手順については、PWR固有の設計に基づくものであるため、同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉と比較し差異の識別を実施。

比較表における差異識別プラント一覧

令和3年11月5日
北海道電力株式会社

停止時	全交流動力電源喪失		概ね説明済み	女川2号炉	当該審査項目は、原子炉施設に共通の要求に係るものであり、事故シークエンスグループ等の特徴もPWRとBWRで類似している。また、有効性評価は女川2号炉と泊3号炉で資料構成が同一であり、比較表形式でまとめ資料の項目単位での比較も精度良く可能であることから、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	操作手順については、PWR固有の設計に基づくものであるため、同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉と比較し差異の識別を実施。
	原子炉冷却材の流出		概ね説明済み	女川2号炉	当該審査項目は、原子炉施設に共通の要求に係るものであり、事故シークエンスグループ等の特徴もPWRとBWRで類似している。また、有効性評価は女川2号炉と泊3号炉で資料構成が同一であり、比較表形式でまとめ資料の項目単位での比較も精度良く可能であることから、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	操作手順については、PWR固有の設計に基づくものであるため、同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉と比較し差異の識別を実施。
反応度誤投入		概ね説明済み	女川2号炉	当該審査項目は、原子炉施設に共通の要求に係るものであり、事故シークエンスグループ等の特徴もPWRとBWRで類似している。また、有効性評価は女川2号炉と泊3号炉で資料構成が同一であり、比較表形式でまとめ資料の項目単位での比較も精度良く可能であることから、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	操作手順、解析（評価）条件等については、PWR固有の設計に基づくものであるため、同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉と比較し差異の識別を実施。	
1.0	43条	共通（1.0.2（保管アクセス）以外）	概ね説明済み	女川2号炉	当該条文/審査項目は、重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力、重大事故等対処設備に係る共通の要求に係る条文であり、具体的な基準適合方針・設計が類似しているため比較表形式でのまとめ資料の比較も精度良く可能であることから、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	-
		共通（1.0.2（保管アクセス））	概ね説明済み	女川2号炉	当該条文/審査項目は、原子炉施設に共通の要求に係る条文であり、具体的な設計が類似しているため比較表形式でのまとめ資料の比較も精度良く可能であることから、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	-
1.1	44条	ATWS	概ね説明済み	大飯3/4号炉	原子炉出力を抑制するとともに原子炉冷却材圧力バウンダリ及び原子炉格納容器の健全性を維持するための設備として、補助給水系、主蒸気逃がし弁等の蒸気発生器2次側を活用することによる対応等についてはPWR固有の設計に基づくものであり、プラント設計方針が大きく異なるため比較は難しく、基準適合のための適切な設計を取り込むため同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉を選定する。	-
1.2	45条	高圧時冷却	概ね説明済み	大飯3/4号炉	蒸気発生器2次側による炉心冷却手段の活用による対応等についてはPWR固有の設計に基づくものであり、プラント設計方針が大きく異なるため比較は難しく、基準適合のための適切な設計を取り込むため同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉を選定する。	-
1.3	46条	減圧	概ね説明済み	大飯3/4号炉	蒸気発生器2次側による炉心冷却手段の活用や蒸気発生器伝熱管破損時の対応等についてはPWR固有の設計に基づくものであり、プラント設計方針が大きく異なるため比較は難しく、基準適合のための適切な設計を取り込むため同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉を選定する。	-
1.4	47条	低圧時冷却	概ね説明済み	大飯3/4号炉	蒸気発生器2次側による炉心冷却手段の活用による対応等についてはPWR固有の設計に基づくものであり、炉心冷却に用いる設備構成の相違など、プラント設計方針が大きく異なるため比較は難しく、基準適合のための適切な設計を取り込むため同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉を選定する。	-
1.5	48条	最終ヒートシンク	概ね説明済み	大飯3/4号炉	蒸気発生器2次側による炉心冷却手段や格納容器内自然対流冷却手段の活用による対応等についてはPWR固有の設計に基づくものであり、プラント設計方針が大きく異なるため比較は難しく、基準適合のための適切な設計を取り込むため同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉を選定する。	-
1.6	49条	CV冷却	概ね説明済み	大飯3/4号炉	格納容器内自然対流冷却手段の活用による対応等についてはPWR固有の設計に基づくものであり、プラント設計方針が大きく異なるため比較は難しく、基準適合のための適切な設計を取り込むため同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉を選定する。	-
1.7	50条	CV過圧破損防止	概ね説明済み	大飯3/4号炉	格納容器内自然対流冷却手段の活用による対応等についてはPWR固有の設計に基づくものであり、プラント設計方針が大きく異なるため比較は難しく、基準適合のための適切な設計を取り込むため同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉を選定する。	-
1.8	51条	CV下部注水	概ね説明済み	大飯3/4号炉	原子炉格納容器構造の違いによる格納容器スプレイ（格納容器下部注水）に用いる設備構成の相違など、プラント設計方針が大きく異なるため比較は難しく、基準適合のための適切な設計を取り込むため同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉を参照する。	-
1.9	52条	CV水素対策	概ね説明済み	大飯3/4号炉	原子炉格納容器内水素処理装置（PAR）、格納容器水素イグナイタの活用による対応等についてはPWR固有の設計に基づくものであり、プラント設計方針が大きく異なるため比較は難しく、基準適合のための適切な設計を取り込むため同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉を選定する。	-
1.10	53条	RB水素対策	概ね説明済み	大飯3/4号炉	原子炉格納容器からの水素漏えいに対する水素排出設備（アニュラス空気浄化ファン）による対応等についてはPWR固有の設計に基づくものであり、プラント設計方針が大きく異なるため比較は難しく、基準適合のための適切な設計を取り込むため同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉を選定する。	-
1.11	54条	SFP	概ね説明済み	女川2号炉	当該条文は、原子炉施設に共通の要求に係る条文であり、具体的な手順及び設備設計が類似しているため比較表形式でのまとめ資料の比較も精度良く可能であることから、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	-
1.12	55条	放射性物質の拡散抑制	概ね説明済み	女川2号炉	当該条文/審査項目の放射性物質の拡散抑制は、原子炉施設に共通の要求であり、具体的な手順及び設備設計が類似しているため比較表形式でのまとめ資料の比較も精度良く可能であることから、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	-
1.13	56条	水源	概ね説明済み	大飯3/4号炉	当該条文/審査項目の水源は、原子炉施設に共通の要求であることから最新審査実績である女川2号炉との比較を試みたが、資料構成が大きく異なり、比較表形式でのまとめ資料の比較や精度良く比較することが困難であった。従って、技術的能力1.13/SA56条については、資料構成が同等であり、かつPWR固有の要求事項である代替再循環設備の確保などのプラント設計方針、基準適合へのアプローチが同じである同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉を選定する。	-
1.14	57条	電源	概ね説明済み	女川2号炉	当該条文は、炉型に係らず原子炉施設に共通の要求に対する基準適合の視点を参照する対象として、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	-
1.15	58条	計装	概ね説明済み	女川2号炉	当該条文は、炉型に係らず原子炉施設に共通の要求に対する基準適合の視点を参照する対象として、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	-

プラント
S
A

設備・技術的能力

比較表における差異識別プラント一覧

令和3年11月5日
北海道電力株式会社

共通	1.16	59条	原子炉制御室	概ね説明済み (原子炉制御室の居住性を確保するための対策はバックフィットのため新規説明)	女川2号炉	当該条文は、炉型に係らず原子炉施設に共通の要求に対する基準適合の視点を参照する対象として、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	アニュラス空気浄化設備および居住性評価で考慮する事故シーケンスについてはPWR固有の設計に基づくものであり、基準適合のための適切な設計を取り込むため、同型炉（PWR）の最終実績である大飯3/4号炉を選定する。
	1.17	60条	監視測定	概ね説明済み	女川2号炉	当該条文は、炉型に係らず原子炉施設に共通の要求に対する基準適合の視点を参照する対象として、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	—
	1.18	61条	緊急時対策所	概ね説明済み	女川2号炉	当該条文は、炉型に係らず原子炉施設に共通の要求に対する基準適合の視点を参照する対象として、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	—
	1.19	62条	通信連絡	概ね説明済み	女川2号炉	当該条文は、炉型に係らず原子炉施設に共通の要求に対する基準適合の視点を参照する対象として、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	—
	2.1	—	大規模損壊	概ね説明済み	女川2号炉	当該審査項目は、大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムへの対応に係る原子炉施設に共通の要求であり、具体的な基準適合方針が類似しているため比較表形式でのまとめ資料の比較も精度良く可能であることから、最新審査実績である女川2号炉を選定する。	—
			地質（第38条）	一通り説明済み コメント回答中	第3,4,5条側で対応	/	/
			地震動（第38,39条）	一部説明済み コメント回答中			
			津波（第40条）	一部説明済み コメント回答中			
			火災（第41条）	概ね説明済み	女川2号炉	当該条文は、建屋内の配置、火災源等といったプラント固有の条件を踏まえた設計方針を示す必要があることを踏まえ、炉型に係らず原子炉施設に共通の要求に対する基準適合の視点を参照する対象として最新審査実績である女川2号炉を選定する。	—
			技術的能力（添付書類五）	—	女川2号炉	本添付書類は、炉型に係らず共通の項目であり、原子炉施設に共通の要求に対する基準適合の視点を参照する対象として最新審査実績である女川2号炉を選定する。	—
		品証（添付書類十一）	—	島根2号炉	添付書類十一（品証）は、2020年4月施行の新検査制度から規定されたものであり、炉型に係らず共通の項目であること及び女川2号炉に当該書類が存在しないことから、既許可プラントである島根2号炉を選定する。	—	